

つる植物の茎の巻き方表現図

(文章記述に適する表現)



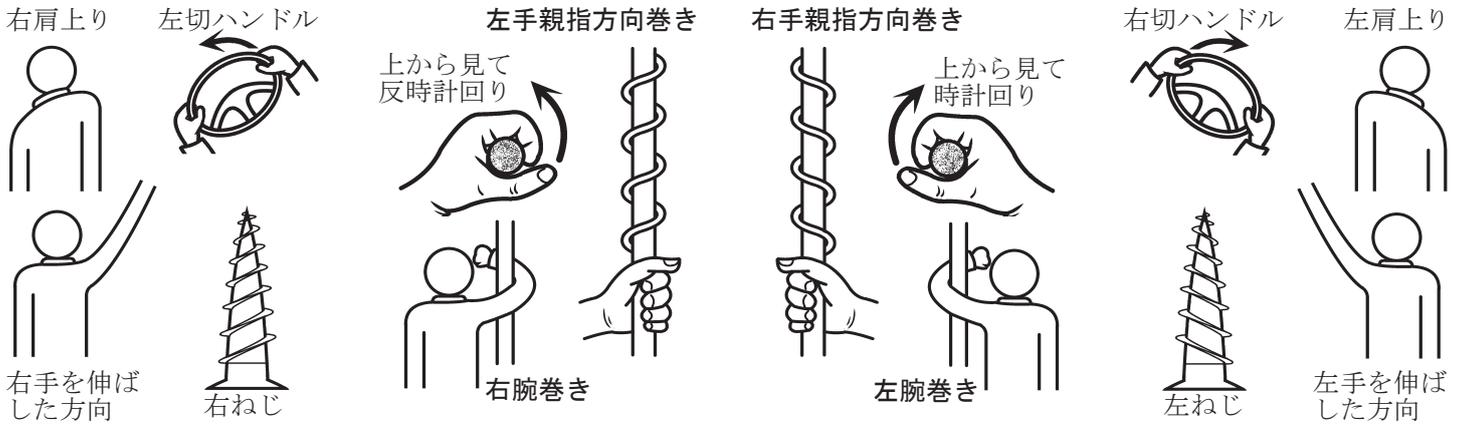
(定義や説明が不要な表現)

牧野式 左巻き
反牧野式 右巻き

牧野式 右巻き
反牧野式 左巻き

(定義や説明を要する表現)

(定義や説明を要する表現)



つるの巻方を覚えるのは、各人が最も覚えやすい方法を選べばよい。「右巻き、左巻き」の混乱を解決できる可能性の高いのは、文章記述に適する「S・Z」方式ではないかと考える。

《茎自体が巻き付くつる植物の巻き方一覧》(内は文献略号:×は誤記している。(2010/11現在の調査による))

◆Z巻き、左手親指方向巻き(牧野式左巻き、反牧野式右巻き)

- ヤマノイモ科:ヤマノイモ(平朝地山さ)、ナガイモ(山さ)、カエデドコロ(山)。
- マメ科:ヤマフジ(牧地平保朝ウ山さ)、ヤブマメ(山さ)、ツルマメ(地朝山さ)、タンキリマメ(溪さ)、トキリマメ(さ)、ヤブツルアズキ(地山さ)、ノアズキ(さ)、インゲン(地)、シカクマメ(山)、ノササゲ(山さ)、ホドイモ(山さ)、ダイズ(さ)、クズ(地朝山さ)。
- アケビ科:アケビ(朝靦ウ山さ)、ミツバアケビ(朝ウさ)、ムベ(朝山さ)、ゴヨウアケビ(さ)。
- ヒルガオ科:アサガオ(牧朝地写ウさ)、マルバアサガオ(牧長写;平×)、アメリカアサガオ(長写)、マルバアメリカアサガオ(さ)、ヨルガオ(さ;地×)、ヒルガオ(朝地さ)、コヒルガオ(山さ)、マメアサガオ(さ)、ネナシカズラ(朝山さ)、ハマネナシカズラ(牧)、アメリカネナシカズラ(長さ)、マメダオシ(牧地)、ルコウソウ(牧地山さ)、ハゴロモルコウソウ(さ)、マルバルコウ(牧長さ;平×)。
- ツヅラフジ科:ツヅラフジ=オオツヅラフジ(山さ)、アオツヅラフジ(朝地ウ山さ)、コウモリカズラ(ウ山さ)、ハスノハカズラ(朝山さ)。
- マタタビ科:マタタビ(朝山さ)、サルナシ(山さ)、キウイフルーツ(朝)。
- ウマノスズクサ科:ウマノスズクサ(朝山さ)、オオバウマノスズクサ(さ)、アリマウマノスズクサ(さ)。
- キョウチクトウ科:テイカカズラ(山さ)、サカキカズラ(さ)。
- キョウチクトウ科(旧ガガイモ科):イケマ(山さ)、コイケマ(牧さ)、イヨカズラ(さ)、イズカモメヅル(山)、コバナカモメヅル(山さ、地は両巻)、タチカモメヅル(さ)、オオカモメヅル(さ)、コカモメヅル(さ)、ガガイモ(山さ)、キジョラン(山さ)、シタキソウ(さ)。
- クスノキ科:スナヅル(朝)。
- クロタキカズラ科:クロタキカズラ(朝)。
- ニシキギ科:ツルウメモドキ(山さ)。
- ナス科:マルバノホロシ(さ)。
- モクセイ科:ハゴロモジャスミン(さ)。
- ナデシコ科:ナンバンハコベ(山)。

◆S巻き、右手親指方向巻き(牧野式右巻き、反牧野式左巻き)

- ヤマノイモ科:オニドコロ=トコロ(朝地山さ)、ヒメドコロ(山さ)、タチドコロ(さ)、ニガカシュウ(山さ)、カエデドコロ(さ)、キクバドコロ=モミジドコロ(さ)。
- マメ科:ノダフジ=フジ(牧朝地平保山さ)、ナツフジ(牧地平ウ山さ;朝×)。
- リンドウ科:ツルリンドウ(朝山さ)、ホソバナツルリンドウ(山)。
- アサ科(旧クワ科):カナムグラ(朝地山さ)、ポップ(朝)、カラハナソウ(朝山さ)。
- マツブサ科:マツブサ(朝ウ山さ)、チョウセンゴミシ(朝山)、サネカズラ(山さ)。
- スイカズラ科:スイカズラ=ニンドウ(牧朝地山さ)、ツキヌキニンドウ(さ)。
- クワ科:ツルコウゾ(さ)。
- タデ科:ツルイタドリ=ツルタデ(山)。
- アカネ科:ヘクソカズラ(平朝地山さ;牧保×)。
- クロウメモドキ科:クマヤナギ(山さ)。

◆両巻き

- キキョウ科:ツルニンジン=ジイソブ(牧朝地保ウ山さ)、バアソブ(ウ山;朝はS巻き、さは文献で両巻き・検証でS巻き)。
- タデ科:ツルドクダミ(牧地ウ山さ)。
- カニクサ科:カニクサ(朝さ)。

<文献略号一覧>

- ◆牧野式採用文献:新牧野日本植物図鑑2008(牧)、図解植物観察辞典1993(地)、原色日本植物図鑑1964(保)、原色日本帰化植物図鑑1976(長;アメリカネナシカズラ等から牧野式と推測)、日本帰化植物写真図鑑2001(写;アサガオから牧野式と推測)、野に咲く花1989(溪;タンキリマメから牧野式と推測)。
- ◆反牧野式採用文献:日本の野生植物1981(平)、朝日百科植物の世界1997(朝)、神奈川県植物誌2001(神)、園芸植物大事典1990.小学館。
- ◆SZ式採用文献:ウィキペディア2009(ウ)、さしば氏サイト2010(さ)。
- ◆右手親指方向・左手親指方向採用;山下照子氏サイト2010(山)。